

左官

●実技指導テーマ

技能五輪の課題が製作できるまでの技能講習

— 技能五輪過去課題を活用した左官の高度な技能習得 —

ものづくりマスターの派遣要請の背景

当社では、教育・研修制度として、新入社員には、宮崎高等技術専門校の「左官・タイル施工科」に入校できるようにしており、また、中堅社員には、同じ宮崎高等技術専門校の「左官伝統技法科」に入校できるようにしています。

いずれも、受講料は会社が負担しています。22歳以下の従業員には技能五輪出場の機会を与えています。出場のためにかかる経費は会社が負担していますが、訓練は仕事の後に各自が率先して行っています。

ものづくりマスターの派遣講習は、そうした気鋭の従業員のさらなる技能・技術向上を目的として要請しました。

●派遣先



有限会社 岩佐工業

〒880-0921 宮崎市大字本郷南方字榎田
2686 番地5

派遣先概要

代表者：岩佐富士夫

資本金：300万円

支店・営業所：延岡営業所

延岡市恒富町4丁目177番地

事業内容：左官工業

設立・沿革：平成4年7月有限会社岩佐工業設立

平成24年4月 延岡営業所開設

従業員数：23人

技能者数：15人

指導期間／回数	10月18日から11月19日までの18日間
指導実施場所	宮崎高等技術専門校
受講者数・指導職種	1名・左官

●カリキュラム

日数	日時	指導内容
1	10月18日(金)	墨出し引型作成及び置引き作業
2	10月21日(月)	モルディングA、B、C加工取付け作業
3	10月23日(水)	モルディングD加工取付け作業
4	10月24日(木)	モルディングDの内壁の仕上げ
5	10月25日(金)	墨出し引型作成及び置引き作業
6	10月28日(月)	モルディングA、B、C加工取付け作業
7	10月30日(水)	モルディングD加工取付け作業
8	10月31日(木)	モルディングDの内壁の仕上げ
9	11月1日(金)	墨出し引型作成及び置引き作業 モルディングA、B、C加工取付け作業
10	11月4日(月)	モルディングD加工取付け作業
11	11月6日(水)	モルディングDの内壁の仕上げ 作業台及び貼付け台段取り
12	11月7日(木)	墨出し引型作成及び置引き作業 モルディングA、B、C加工取付け作業
13	11月8日(金)	モルディングD加工取付け作業 モルディングDの内壁の仕上げ
14	11月13日(水)	モルディングD加工取付け作業 モルディングDの内壁の仕上げ
15	11月14日(木)	墨出し引型作成及び置引き作業 モルディングA、B、C加工取付け作業
16	11月15日(金)	モルディングD加工取付け作業 モルディングDの内壁の仕上げ
17	11月18日(月)	原寸図作成 部分作業
18	11月19日(火)	原寸図作成 道具手入れ

👑ものづくりマスター

坂田 己喜雄(さかた みきお)

昭和28年2月19日生まれ。昭和55年職業訓練指導員。平成21年技能インストラクター。

昭和56年度 1級技能士(職種「左官」・左官作業)。

平成25年8月2日、「左官」職種でものづくりマスターに認定。

●指導ニーズの把握方法

岩佐工業さんでの人材育成の方針などを聞いたうえで、左官技術の基礎から応用まで幅広く含まれている技能五輪の課題をもとにしたカリキュラム作成をしました。鍍(こて)などの道具を使って建物の壁や土間などを仕上げるのが左官の仕事ですから、その基本的な技術の伝承を念頭に置いて指導すべきだと考え、実践しました。



坂田 己喜雄

基本の指導と客観的な評価で 受講者の持ち味を引き出す

工夫したことは？

色々な鍍を使って表現する技術など、基礎から応用まで幅広い内容を1つひとつまんべんなく進めていく方法ではなく、序盤は本人のやりたいことや興味のあることを聞きながら行い、中盤は不得手なことに重点を置き、終盤では時間内に仕上げる練習をしていくメリハリのある受講環境をつくるように計画を立てました。

苦労したことは？

苦労は特に感じませんでした。強いて挙げるとすれば、18日間の講習を私1人で対応したことでしょうか。受講者の人数との関係によるのでしょうか、期間が長かったものですから、ものづくりマスターを2人体制にできれば、なお良かったのかもしれません。

特に印象に残ったことは？

受講者の黒木賢太郎君の感覚といたいますか、タッチが非常に良かったことが印象に残っています。また、指摘した点を吸収する力もあると感じました。職人としての筋が良いということですね。

👑今後 反映させたい ことは？

受講者が持っているものを尊重することを私は大切にしています。得意なところはより伸ばしていくように指導し、苦手なところはそれを得意とする人の指導を受ける機会をつくってやるのが大事だと思います。そのためには、受講者と受入れ企業とのコミュニケーションが大切ですし、日頃から人の輪をつくることを心がけることではないでしょうか。また、自分自身に対して厳しくあることも、職人として忘れてはいけないことだと思っています。

受入れ担当者の感想

●ものづくりマイスター制度を知ったきっかけ

ものづくりマイスター制度は、左官組合を通じて知り、技能振興コーナーに相談して派遣要請の手続きを行いました。
今後の若年技能者育成のために、私自身も認定申請をし、平成26年5月にもものづくりマイスターに認定されました。



岩佐 富士夫さん

●ものづくりマイスター派遣導入に当たり、内部調整で苦労したことは？

まず社長である私がこの制度を活用したいと思いましたが、会社として、ものづくりマイスターを受け入れることにはまったく抵抗はなく、関係スタッフも気持ちよく賛成してくれました。技術を身に付けること、腕を上げることにみな一生懸命ですから。日頃から人材教育や技能訓練に力を入れていることが良かったのだと思います。



●ものづくりマイスター制度活用が一番のメリットは？

誇りを持って仕事をしてほしい、それだけの技術を身に付けてほしいというのが、従業員に対する私の願いです。この制度の会社として一番のメリットは、ものづくりマイスターの目を通して従業員の技能の評価を客観的に行えるという点にあります。そしてそのうえで、若い人の人材育成を行えることにあります。当社では毎年、良い若い人材を迎えています。その若者にプロとしての意識を芽生えさせること、得意なところを伸ばしていくこと、皆が、何かしら良いところを持っていますから、それを伸ばしてやる。そうすると、左官を好きになるのです。そういう環境をつくってやるのが私たちの役割ではないでしょうか。左官という仕事を通じて、若者に育ってもらう。その環境づくりの一環として、ものづくりマイスターという外部の優れた技能者から直接学べる機会は、かけがえのない時間であると感じました。

受講者の感想

●受講の動機

入社して丸3年になりますが、仕事をすればするほど左官の面白さを実感しています。昨年、技能五輪に出場して良い成績を残したいという目標を立てたとき、社長や先輩方からのアドバイスがあり、ものづくりマイスターの指導を受けたいと思いました。1人で訓練をしていても、集中力が続かないことがあります。外部の講師の指導を受けられれば緊張感が高まりますし、何より高い技術に触れたいと思いました。



黒木 賢太郎さん

●スゴイと思ったことは？

作業をする中で、ここでは止めてほしくないと思うときにはそのまま作業を続けさせてくれて、うまいタイミングで声をかけてくれる指導をしてくださいました。技術だけでなく、こうした配慮ができるところもすごいなあと思いました。また、置引きの作業では、材料がある程度固まるまで待ち時間ができますが、その間にできる作業があるということを教わりました。

●特に参考になったことは？

1人でしては気づかない自分の欠点などがあるのですが、そういうことに気付けるよう、少し離れたところから自分を見るような姿勢を教えてくださいました。1つひとつ確かめながらやってみると自分を見つめる機会をつくってくれたことが大変参考になりました。また、普段、仕事の現場で見られない技術を見せてもらったことも参考になりました。



👑「ものづくりマイスター制度」活用のアドバイス

受入れ担当者より

自社の従業員の技能向上を目指すのであれば、この制度を利用することをお勧めします。ものづくりマイスターというトップクラスの技能や技術を持った人の力に触れる貴重な機会をつくることができます。

受講者より

ものづくりマイスターの言葉を自分の頭の中に入れてみて、自分自身の技術に合わせて考えることが、自分の力を上げていくのに役立ちました。同時に、考える力も身に付いたと思います。受講を通して、自分自身の幅が広がったと感じることができました。こういう機会をつくってくれるのが「ものづくりマイスター制度」だと思います。

ものづくりマイスターより

左官は「人」が行う仕事ですから、人から人へと伝えていく機会がとても重要です。ものづくりマイスターを派遣してもらおうと考えている企業や学校などは、派遣されるものづくりマイスターと事前に話し合いをして進めていくことが重要ではないでしょうか。ものづくりマイスターの方は、技術を押し付けるのではなく、相互に話し合って何を習得させるべきかを考えながら指導に当たることがポイントではないでしょうか。

コーナー担当者より

ものづくりマイスターの方々には、皆さんがかなりの技能を持った人ばかりです。その反面、人前で話をするのが苦手な人が多いのも事実です。しかし、話すことは不得手でも、技術・技能に深い関心のある受講者には、ものづくりマイスターの想いが通じるということもよくあります。企業、受講者、ものづくりマイスター、コーナー担当者の信頼関係を築いていくことが重要ではないかと考えています。